

□学校の沿革□

明治5年	寄町長徳寺を借り、柏崎学校今町分校として創立する
明治42年	新校舎が竣工する
昭和23年	古城小学校が独立する
昭和29年	直江津南小学校が独立する
昭和42年	第Ⅰ期工事完了。昭和44年までに第Ⅱ期、第Ⅲ期と工事が完了し、校舎移転
昭和44年	新校舎が竣工する
昭和46年	創立100周年記念式典を挙げる
平成12年	上越市シニアセンター「ふれあい館」が併設される
平成13年	創立130周年記念
平成21年	新校舎改築竣工記念式典を挙げる
平成22年	直江津学びの交流館が開館する
平成23年	創立140周年記念式典
平成26年	プール改築工事が完了する
平成27年	C S 全国大会 i n 上越で実践発表
平成28年	上越市カリキュラム研究指定を受ける
平成29年	地域合同避難訓練を実施する
平成30年	人権教育総合推進地域指定（文科省）を受ける（～令和2年）
令和3年	創立150周年記念式典

□創立150周年記念事業□

- ①創立150周年おめでとう横断幕、のぼり設置
- ②創立150周年記念汐なり運動会
- ③創立150周年記念Tシャツ作成
- ④創立150周年記念航空写真撮影、クリアファイル作成
- ⑤創立150周年記念メモリアルウォール制作
- ⑥創立150周年記念ホルダリング壁設置
- ⑦創立150周年記念平成13年（2001年）度作成壁画のパネル設置（地域交流ラウンジ）
- ⑧創立150周年お祝いプランター植栽
- ⑨創立150周年お祝いパースデーケーキ披露
- ⑩創立150周年記念樹「イチョウ」植樹
- ⑪校歌の表装修繕
- ⑫創立150周年記念屋外テント購入
- ⑬創立150周年記念式典
- ⑭創立150周年記念誌



創立150周年記念の運動会



上越市立直江津

のやりたいことを行つて主体性を育てて。本年度はクラス会議でクラスの取り組みや課題解決を話し合っている。同校の宝物の一つが昭和3年に同窓会から寄贈されたベシユタインのピアノ。世界最高峰のピアノといわれ、コメ10がら由30銭だった時代に、3300円という高価なピアノが児童、学校のために贈られた。このピアノを選定したのが音楽家のジェームス・タン氏。子ども時代に同校に通い、後に校歌を作曲している。現在も歌われているこの校歌は昭和6年、新たに作られた。作詞した当時の校長、上原

直江津小学校 校歌

作詞 上原龍三
作曲 ジェームス・タン

一　ながめとうとき　　めづ山の上
まどにうつれる　　姿をあおぎ
いよわれる　　けだかくあらん
この庭なつかし　　この庭なつかし

二　のぞみはてなき　　日本海の
岸にせま　　うしろをあて
いよわれる　　すこやかならん
この庭なつかし　　この庭なつかし

三　日ごと目とこの　　歌ををまり
やがて世に立ち　　なりわいはけみ
直ぐ正しき　　みたとならん
この庭なつかし　　この庭なつかし

昭和六年九月十八日　制定

児童代表あいさつ　直江津小学校は、今年度、創立150周年をむかえました。150年といわれてもあまり実感がありませんが、社会科の学習で習った明治時代のはじまりとほとんど同じとわかると、とても長い歴史があると思えます。直江津の人々が、教育の必要性を強く思い、子どもたちの学びの場を早くから作ってくださったことがわかります。今年度、創立150周年をむかえることでさまざまな記念事業がありました。これらの創立150周年をお祝いするため活動が実現できるの

は、地域の方の協力や思いがあったからです。創立150年の年に、最高学年として直江津小学校で過ごすことができるのは、わたしたち6年生だけです。これまでの長い歴史の中で、直江津小学校で小学校時代を過ごした保護者の方や地域の方々の直江津小学校を大事にする思いがあるからこそ、いまがあとを思います。たくさん直江津の方々に出会い、お話を聞く機会がありました。職業や年齢などはさまざまですが、「わたしたちのまち、直江津への思いがある」とは変わりませんでした。話を聴くたびにみなさんから大事にさ

小学校創立150周年



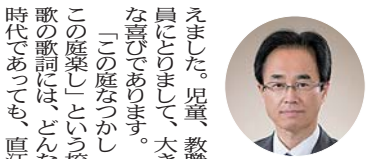
児童が学び遊び成長している4代目の校舎。壁面には創立150周年記念で児童が描いた絵が見られる

上越市立直江津小学校は今年、創立150周年の節目を迎えた。明治5年の開校から数多くの卒業生を送り出し、地域と共に歩んできた。同校は明治政府が「学制」を発布した同年、寄町（現上越市住吉町）の長徳寺を借り、「柏崎学校今町分校」として開校した。翌年には現在地に校舎を新築移転、明治42年に2代目、昭和44年に3代目の校舎が完成し、現在は平成31年築の校舎で児童が在校生を送っている。また、活を送っている。長谷川明寿校長は学校の特長を「地域と共に歩む、地域に支えられている学校」と話す。創立時の校舎新築への寄付など地域の支援が大きい、児童は地域に出掛け、住民にさまざまなことを教わるなど地域とのつながりを大切にしている。また、



直江津小の室の一つ、ベシユタインのピアノ。行事の伴奏などで今も活用されている

地域と共に歩み歴史刻む



津小学校で学んだことが人生の基盤となり未来に向かって伸びゆく可能性を共有するフリースとなつて心に響いてきます。150年という間には、輝かしい伝統と同時に現在コロナ禍を含め、幾多の災害や戦禍など困難にも遭遇しました。しかし、一貫して直江津小学校が貫いていることがあります。それは困難や苦難を乗り越えながら常に地域と共に歩んできた学校であるということです。直江津小学校は、明治から令和の時代に至るまでこの姿勢を堅持しています。地域と共に歩む姿は、次代を超えて同窓会・後援会・体育音楽文化後援会・学校運営協議会・青少年育成会議など、様々なお立場から学校がサポートされています。この大きな節目にあたり直江津小学校を育てていただいたすべての皆様に感謝申し上げます。とともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。校長 長谷川明寿



ごあいさつ　す。また、数多くの卒業生（オンライン学習用機材、マージング、体育備品関係等）を世に送り出しており、今や上越地域はもとより全国各地、さらには海外へと闊の場を広げています。この度の記念事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動の自粛を余儀なくされ、簡素な中でも直江津小学校の素顔が見える事業として、1・創立150周年記念式典、2・記念誌発行、3・記念制作（壁面アート作成）児童デザイン、4・記念備品整備（オンライン学習用機材、マージング、体育備品関係等）を中心に行つことと致しました。これらの記念事業を通じて歴史と伝統のある直江津小学校が益々光り輝く学校となり、その中で学ぶ子供達が夢と希望を持つていくと育つことが理想と考えております。創立150周年記念事業実行委員会委員長 勝島寅一郎